



介護福祉士

どんな仕事？

専門知識と技術で日常生活を支援。

認知症や寝たきりの高齢者や障害者など、日常生活を営むことが困難な人に、衣服の着脱・食事・排泄・入浴などの支援を行います。少しでも自立した生活が送れるように、介護のスペシャリストとしての専門知識と技術を用いるとともに、それぞれの家庭の事情に合わせて、家族などに介護の指導を行います。

どこで働く？

さまざまな介護保険施設をはじめ、在宅サービスのニーズも。

- 介護老人福祉施設
- 介護老人保健施設
- 障害者支援施設
- 在宅介護サービス事業
- 公務員
- など

高齢者や障害者の介護で、人と社会に貢献。

仕事の展開と将来の展望

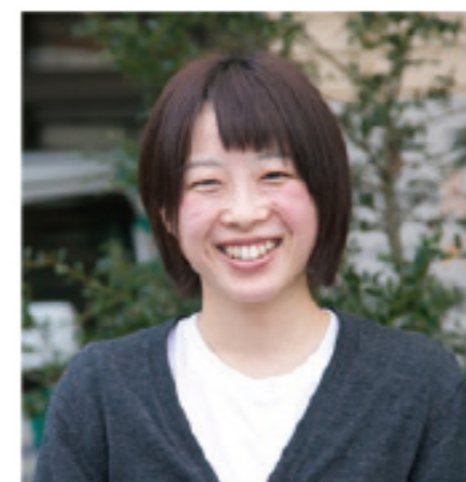
需要が高まる介護のスペシャリスト。

日本では、65歳以上の高齢者が全人口の25%を超え、4人に1人が高齢者という社会である。そこで、栄養学・調理・心理学・医学一般の知識に加え、リハビリテーション技術と介護サービスを熟知した介護福祉士の存在価値はますます大きくなります。介護福祉士と社会福祉士の両方の国家資格を取得することも可能で、ケアマネジャーの資格を取得してステップアップしていく道もあります。

OG VOICE

一人ひとりの方の思いをくみ取れる介護福祉士になりたい

特別養護老人ホームの利用者様は、ご自宅で生活することが困難な方が多いので、私たちが生活を支えるお手伝いをしています。思っていることを言葉でうまく伝えられない方には、例えばもじもじしていたら「トイレに行きたいのかな」というように、表情や行動の些細な変化を見逃さず、利用者様の思いに気づいて迅速に対応できるように心掛けています。先日、利用者様からお礼を言われて嬉しくなりました。私も利用者様の笑顔に支えられています。



中山 美咲さん

特別養護老人ホーム
ハーモニー 勤務

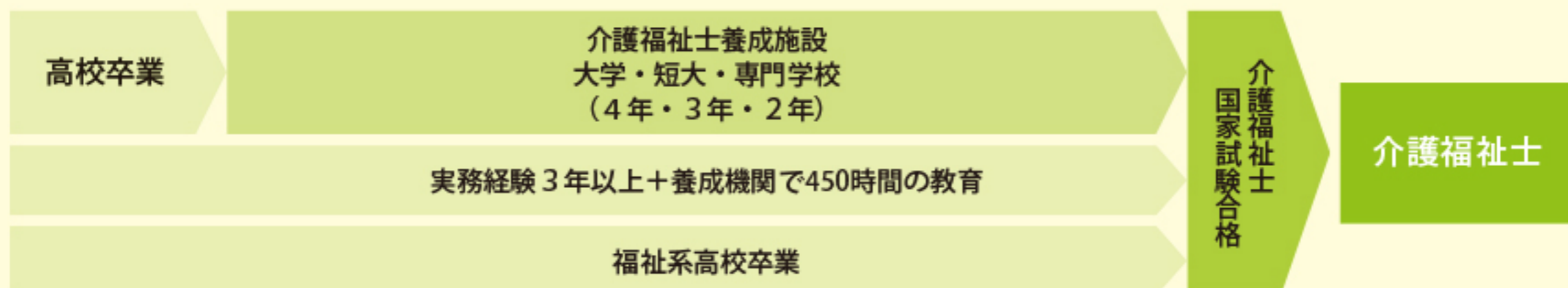
医療福祉学部
医療福祉・マネジメント学科 卒業

どうすればなれる？

- 介護福祉士国家試験に合格しなければなりません。

受験資格を得るには…

2～4年制の養成施設で専門知識・技能を学び卒業する
3年以上の実務経験を経て、養成機関で450時間の教育を受ける
などの方法があります。



※養成施設卒業生は、平成34年度より国家試験を受験し、合格しなければ介護福祉士になることはできません。

※平成33年度までは経過措置として、原則卒業後5年間連続して介護の業務に従事することで、介護福祉士の資格を取得することができます。